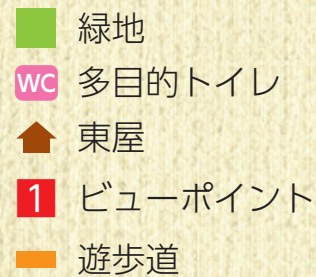


黒目川の上流域について



POINT

〈Aゾーン〉

緑地保全地域の樹々が静寂
さを生む癒しのスポット。
「東京の名湧水57選」に選ば
れた場所はここ！



POINT

〈Bゾーン〉

階段を降りて気軽に
水遊び。春には桜の
木の下でお花見も。

POINT

〈Cゾーン〉

きれいな遊歩道が整備され、開放感に満ちたエリア。東屋でちょっと休憩など。



さいかちの道

新青梅街道～柳橋

東久留米市南西部に位置する小平霊園の北側にある「さいかち窪」は黒目川の源流となっています。ここから新青梅街道を渡って柳窪の旧集落に入った一帯は緑地保全の地域となっており、今も、武蔵野の屋敷林や雑木林等が残っています。緑を保ち、川の自然の形状を生かしながら、市民の方が景観を楽しめるように整備されました。

黒目川上流域の最上流整備区域であり、黒目川の源流域である小平霊園内の「さいかち窪」にちなんで、公募により『さいかちの道』と名づけられました。

しんやま親水広場

柳橋～宮裏橋(新所沢街道)

この区間は、市民の憩いの場を創造するという目的から、岸にフェンスを設けず、遊歩道から水面までが近しく感じられるようにつくられました。広場の中ほどには、川まで降りられる階段がつくられ、子供たちが水遊びができるようになっています。

川土手には桜並木が植えられ、春には桜の名所として、人々の目を楽しませています。

しんみやまえ親水こみち

宮裏橋(新所沢街道)～新宮前通り

神社や畑と隣接しており、その
景観を生かして、武蔵野の農村の
風景を復元することを目指して整
備された地域です。

神社周辺の樹々を眺めながら、遊歩道を散策し、東屋やベンチを憩いの場として利用できるようになっています。

